

経皮内視鏡的胃瘻造設術で入院された 患者さんへ 研究協力のお願について

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、当院の倫理委員会の審査を受け、承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2022 年 4 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日に上越総合病院で経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）が行われた方

2. 研究の概要

研究課題名 経皮内視鏡的胃瘻造設術を受けた症例での経鼻経管栄養中の身体拘束や自己抜去についての検討

研究期間 承認日から ～ 2030 年 3 月 31 日

目標数 全体 240 例

3. 研究の目的・方法について

この研究ではPEGが行われた方を対象に、PEG施行前の経鼻胃管留置とそれに関連した事故抜去に関する要因を調べることを目的としています。上越総合病院消化器内科へ入院され、PEGが行われた患者さんの経過や診療データを取りまとめ、経鼻胃管の事故抜去が生じる症例の特徴を明らかにします。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

上越総合病院での診療の際に得た情報を使用します。

情報：年齢、性別、画像所見、内視鏡所見、血液検査データ、病歴

5. 外部への試料・情報の提供・公表

収集した情報を外部へ提供することはありません。

6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

7. 研究組織

研究責任者	神経内科	坂井健二
研究協力者	消化器内科	合志聡

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

9. 研究への不参加の自由について

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究責任者・相談窓口担当者	神経内科	坂井健二
住所	〒943-8507 上越市大道福田 616	
電話	025-524-3000	